

3 授業科目及び担当教員

修士課程

区分	科 目 名	単位数	必修選択	1 年次		2 年次		担当教員名	建築士関連科目		
				前期		後期					
				1	2	1	2				
基礎科目群	デザイン特論	1	必修	●				板垣/○小松/斎藤/佐藤/長瀬/中村/森本			
	イノベーションデザイン特論	1			●			○板垣/森本			
	美学	1		●				小松			
	デザインと法務	1		●				○渡辺/*藤澤			
	形と素材	1			●			○*久保/*寺内			
	構想発想手法論	1		●	●			板垣			
	サステイナブル環境論	1		●				○渡辺/*飯野(由)	◇		
	インターフェイス論	1		●				○金山/徳久			
	デジタルテクノロジー	1		●				土田/徳久/真壁/○増田/森本			
	文化財建造物とデザイン	1		●				津村/○平山	◇		
専門科目群	社会とアート	2	選択2単位	●				○小松/*伊藤(達)/*神野			
	地域と工芸デザイン	2		●				○小松/*木田(拓)/*鞍田/*吉田(守)			
	建築物と空間の安全	2		●				津村	◇		
	文化財建造物活用論	2		●				津村/○平山/*梅嶋	◇		
	ランドスケープ・アーキテクチャ論	2		●				柏原	◇		
	建築設計論	2		●				○山下/与那嶺/*飯野(由)	◇		
	クリエイティブディレクション	2		●				○水川/*角田/*藤富			
	プロトタイピング演習	2		●				真壁/○増田/森本			
	フィールド分析演習	2		●				板垣/○金山/森本/*中島			
	プロジェクト・マネジメントワークショップ	2		●				○板垣/斎藤/森本/渡辺			
プロジェクト科目群	地域特別プロジェクト演習Ⅰ※	4	必修	●							
	地域特別プロジェクト演習Ⅱ	4	自由選択科目として修了要件には含めない			●		専任教員/○板垣			
ソーシャルスキル群	実務実習※	4	選択4単位	●				専任教員			
	起業演習	4		●				板垣/福本/○渡辺/*栗井			
	建築士インターンシップA	4		●				柏原/北/佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/○平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◆		
	建築士インターンシップB	6		●				柏原/北/佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/○平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◆		
領域科目群	プロダクトデザイン研究	4	選択4単位	●				金澤/金山/金石/菊池/○斎藤/境野/鈴木/土田/真壁/増田			
	視覚デザイン研究	4		●				阿部/天野/吉川/金/徳久/○長瀬/ビューラ/平原/真壁/松本/水川/御法川/山田/山本			
	美術・工芸研究	4		●				遠藤/岡谷/菅野/小林/小松/竹田/○中村/長谷川/馬場/戸内			
	建築・環境デザイン研究	4		●				柏原/北/○佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◇		
	イノベーションデザイン研究	4		●				○板垣/岡谷/金山/吉川/斎藤/土田/津村/中村/森本/渡辺			
特別研究	10	必修				●		研究指導教員			
シップタグ目録	建築士インターンシップC	4	自由選択科目として修了要件には含めない	●				柏原/北/佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/○平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◆		
	建築士インターンシップD	4		●				柏原/北/佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/○平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◆		
	建築士インターンシップE	4		●				柏原/北/佐藤/白鳥/菅原/津村/羽原/○平山/福本/森/山下/与那嶺/渡辺	◆		

博士(後期)課程

科 目 名	単位数	必修選択	1 年次				2 年次		3 年次		担当教員名
			前	後	後	前	前	前	前	前	
特別プロジェクト研究演習※	2	必修	●								研究指導教員、研究指導補助教員
造形理論	8	必修			●						研究指導教員、研究指導補助教員
造形理論研究指導					●						研究指導教員

注1 = インターンシップ科目は建築・環境デザイン領域の学生のみ履修可能

注2 = ◆は建築士試験における実務経験認定に係るインターンシップ科目、◇はインターンシップ関連科目

注3 = 建築士受験関連科目（△または◆の記載がある科目）は博士（後期）課程学生も自由選択科目として履修登録が可能。ただし、インターンシップ関連科目（◇の記載のある科目）については、修士課程で開講している場合においてのみ博士（後期）課程学生は履修することができる。

注4 = *は非常勤講師

注5 = 社会人経験がある履修者で、「地域特別プロジェクト演習Ⅰ」、「実務実習」、「特別プロジェクト研究演習」のプロジェクトと同等の実務経験をすでに有すると研究指導教員及び担当教員が認める場合は、当該実務経験の内容をまとめた報告書の提出により、本科目での活動に代えて評価を行うことがある。（※）

注6 = ●は履修開始可能な学年・学期を示す。

注7 = 大学院学則第37条に規定する在学期間の短縮（6カ月間または1年間）をする場合、特別研究については1年次から履修可能。